



西ノ京夕映え F 8

西ノ京夕映え

この春は

斑鳩の蓮華田に座つて
法起寺の塔を描いていた

この秋は

大池のほとりに立つて
薬師寺の塔に向き合っている

飛鳥から白鳳へ

朱と金と裳階と

その華麗なる変身は

どこからきたのか

古代からの祈りの相は

どこへいつてしまったのか

ふと 思い乱れた想念を

水面の紅く映えるうろこ雲を

ひとはげの風が

吹き消してゆく

略歴 昭和24年東京美術学校(現東京芸大)卒、戦後同期の仲間を中心に群炎美術協会を創立、受賞3回(群炎賞他) 現在会長、慈彩会会員 著書：詩画集4部作

■アトリエ／加須市下谷1445 TEL 0480(62)6303